



### 那覇市歴史博物館からのお知らせ

## 「昭和のなは～あなたの記憶する戦前の那覇～」

かつての那覇市には赤瓦屋根とモダン建築が同居する情緒あふれる街並みがありました。しかし、沖縄戦でそのほとんどが破壊されてしまいました。そこで、那覇市歴史博物館では一括交付金を活用し、戦前の那覇市中心部を復元した模型「ジオラマ」を製作して教育や観光に活用します。

復元範囲は上之蔵町にあった市役所を中心としたメインストリートで、那覇郵便局や山形屋百貨店も含まれます。建築図面は今のところ未発見のため、復元の根拠資料は古写真が中心となります。当館での収集作業で多くの古写真が集まりましたが、課題もあります。例えば、市役所を写した写真は多い一方、写真が一枚も見つかっていない商店もあります。また、写真からは窓の数や屋根の構造、色がわかりにくいので、当時の写真を見てみる方に聞き取り調査をする必要があります。

復元のための根拠資料はまだ不足しているという現状です。

展示のお知らせ

（企画展・特別展示共通）

企画展「戦前の沖縄観光」

「ディスプレイ・オキナワ」

7月6日(土)～10月2日(水)

国室尚家衣裳9月の特別展示

「空色の夏衣裳」

8月30日(金)～10月2日(水)



▲山形屋百貨店(左)と那覇市役所の塔(右奥)

さまざま復元のための資料を募集します。街並み・建物を写した古写真や建築図面をお持ちの方、戦前の市役所周辺を覚えていらっしゃる方がいらっしゃいましたら、ぜひ当館までご連絡ください。自宅に眠る古写真や皆さまの記憶が模型製作の大きな手がかりとなります。

### 那覇市歴史博物館

## 那覇の歴史・文化を体験!

開館時間 10時～19時 木曜休館 ☎ 869-5266

### 那覇市立壺屋焼物博物館イベント情報

#### ハイサイ壺屋焼～ヤチムン大発見!～

ヤチムン(焼物)って何だろう? 壺屋焼ってどうやって作っているの? そもそも壺屋ってどんな場所なんだろう?... そんな数々の疑問について学べる企画展です。小中学生にもわかりやすい内容なので夏休みの自由研究や壺屋焼の入門編としてぴったりです! ※企画展開催期間中の土日は、壺屋焼の技法のひとつ「赤絵」を体験できる「赤絵体験～ミニタイルに絵を描こう!～」を実施します(10時～16時半の間。申込、費用等不要)。

8月20日(火)～9月8日(日) 場 3階 企画展示室 費 無料

#### 神原幼稚園作品展示会

神原幼稚園の園児たちが、元気いっぱい作った焼物(お皿)を展示します。子供たちの笑顔あふれる作品をご覧ください。(※最終日は16時までの展示となります。)

9月17日(火)～24日(火) 場 3階 企画展示室 費 無料

#### 学芸員と展示を見よう～常設展ギャラリートーク～

9月15日(日) 17時から30分程度 費 常設展の観覧料が必要ですが(市内の小・中・高校生は無料) 申 不要。当日、博物館1階受付前に集合して下さい。

開館時間 10時～18時(入館は17時半まで) ☎ 862-3761  
月曜休館 ※ただし、月曜が祝日の場合は開館 FAX 862-3762



## 7/30 那覇の魅力を全国に発信!

本市の魅力を広く県内外にアピールする「那覇市観光大使」の委嘱状交付式が行われました。今回委嘱を受けたのは、現在テレビなどで活躍されているタレントの「ガレッジセール」のゴリ(照屋年之)さん、川田(川田広樹)さんのお二人。お二人とも本市のご出身で、川田さんは「ウチナンチュの温かい雰囲気がとても好きです。これを機に、もっともっと那覇市を全国へアピールしていきたい」と話し、ゴリさんは「那覇が、より活性化していくように、みんなで盛り上げていきましょう!」とあいさつしました。

## 7/31 地域のつながりで、もしもの時も安心安全!!



7月31日(水)、津波緊急一時避難施設および災害時における放送要請に関する協定調印式が行われました。協定を結んだのは「タイムスビル株式会社」「株式会社タイフーンFM」「FM琉球株式会社」の3社です。タイムスビル株式会社は、今年4月に久茂地に新築されたタイムスビルを管理し、地震などで津波が襲ってきた場合の「一時避難施設」となります。株式会社タイフーンFMとFM琉球株式会社は、災害における「避難の呼びかけ」などを行っていただきます。FM琉球株式会社の宮城久美子社長は「これからも地域とのつながりを強めて、協働のまちづくりに貢献していきたい」とあいさつしました。

## 8/1 「夏本番! 食中毒にご用心」

那覇市が中核市となって初めてとなる「食品衛生月間キャンペーン」が行われました。この日、那覇市保健所の国吉所長より、那覇観光キャンペーンレディの伊波栄美さんへ一日衛生監視員の委嘱状が手渡されました。その後、パレットくもじの地下1階の食品売り場において、一日衛生監視員による店内監視が行われました。県内でも昨年に食中毒が4件発生しています。夏本番を迎えた今、食中毒の発生防止のために食中毒予防の三大原則「つけない・ふやさない・やっつける」を一人一人が心がけましょう。



## 8/7 那覇市観光への多大なる功績に感謝!

本年度の那覇市観光功労者表彰式が行われ、今年は個人6人、団体3団体が表彰されました。観光功労者を代表して、沖縄ツーリスト株式会社 代表取締役社長の東良和さんは「那覇市は沖縄県の玄関口であり、沖縄県の観光をけん引する存在であると思います。我々も各々の分野で頑張りながら、県都那覇市をもっと盛り上げていきます」とあいさつしました。

【受賞者一覧】※敬称略  
(個人)

- 東 良和 (沖縄ツーリスト株式会社)
- 渡邊 克江 (沖縄第一ホテル)
- 阿波連本紀 (首里振興会)
- 上原 勝栄 (那覇大綱挽保存会)
- 吉田 盛輝 (那覇大綱挽保存会)
- 西原 篤一 (沖縄ブラジル協会)

- (団体)
- 赤田のみらくウケー実行委員会
- 沖縄 DFS 株式会社
- 吉本興業 株式会社



### 第30回 バスマップ沖縄 谷田貝 哲さん

### 協働さん



市民・事業者・行政が支え合う協働のまちづくりに取り組む団体・個人を紹介いたします。お問い合わせ まちづくり協働推進課 ☎861-3846

ゆるいレベルが開通して今年でちょうど10年。それまでの沖縄の公共交通といえば、バス。しかし、車社会の沖縄、時間通りに来ないなどの理由から、バス利用者は減少し、バス会社が倒産にいたったこともありました。8年前に来沖した谷田貝さんは、生活する中でバスを利用していました。が、大学時代に公共交通について学んだ経験から、空っぽで利用者の少ない沖縄のバスをどうしたら利用してもらえようかというアイデアを思いついたそうです。沖縄に来てバスを利用したら、思ったほど不便には感じず、ただバスに関する情報が少ないことには感じました。と話し、独自に沖縄のバス事情について調査し、2005年にインターネットにバス情報サイト「バスマップ沖縄」を開発。その後、2008年には紙のバスマップの発行も開始しました。

市も交通基本計画の中で「誰もが移動しやすいまちづくり」を掲げ、谷田貝さんの協力で「那覇市の公共交通ハンドブック」を作成し、主に転入者を

#### あなたの暮らしのお供に「バスマップ」を



▲谷田貝 哲さん

対象に配布しています。「那覇は面積も狭いので、移動に車を使わなくても十分生活できます。それに沖縄県は他府県と比べてバス交通網は整備されているほうです。実際、私は車を持っていませんので、実際にバスに乗ってみたい。他にも谷田貝さんは、市民に持続可能な都市交通や移動手段について、考えてもらう本市主催のイベント「モビリティウィーク&カーフリーデー」にも関わっています。

バスマップに関するアンケートをとったところ「移動を車からバスに変えてみたい」、案外バスは便利だった」との回答が多かったことから「バスを、食わず嫌いの人が多い気がしますが、バスに関する情報があれば利用者は増えると思います。多くの市民にバスマップを手にとってもらい、移動について考えるきっかけにしてほしい」と思っています。と話し、バスマップを配布しています。かわいい情報は「バスマップ沖縄」のホームページをご覧ください。

http://www.koitsu-okinawa.org/

# 土・日も法律相談受付中

## 相続 離婚 交通事故 その他 お気軽にご相談下さい

当事務所は、企業法務にも力を入れておりますので、経営者の方もご相談ください。

代表社員弁護士 岡野 浩巳

■お困りの際はお気軽にお問い合わせ下さい

# TEL (098) 836-8131

〒900-0023 沖縄県那覇市楚辺1丁目5番17号 プロフェスビル那覇2階

http://www.okano-hiroshima.jp/naha/ 岡野法律事務所 那覇 検索

広告

## 弁護士 岡野法律事務所

はいさい那覇支店 社員弁護士 山田 英之 (沖縄弁護士会所属)

岡野法律事務所は代表社員弁護士 岡野 浩巳をはじめ8名の弁護士が所属しております。